

皆様

国慶節快樂！第34回 CCFD 研究会をご案内いたします。

第34回 CCFD 研究会では、日本 Software Cradle Co. Ltd. General Manager(部長代理)、兼中国科瑞多技術中心主任の范秦寅先生をお迎えし、「熱流体・構造連成解析に関して」、及び「中国における CAE ソフトウェアの応用状況及び発展戦略」の二つの話題について、ご講演いただきます。

范秦寅先生は日本と中国の CAE ソフトウェア会社にてご活躍されているだけではなく、大阪大学客員研究員や江蘇大学講座教授、日本計算機エンジニア協会会長などにもお勤められ、CFD 並びに CAE に関してたいへん豊富な経験や学識の持ち主として知られています。皆様のご多忙中とは存じますが、万障をお繰り合わせの上、ご出席下さい。

今回の会場は、交通の便の良い理化学研究所東京連絡事務所に移し、開始時間も、いつもより2時間ほど早い午後13:00から行われます。ご参加される予定の方はご注意下さい。

第 34 回 CCFD 研究会 (34th Chinese CFD Seminar)

日 時： 2008 年 10 月 11 日(土) 13:00～17:00

場 所： 理化学研究所東京連絡事務所(東京都千代田区丸の内三丁目 3 番 1 号)

地 図： <http://www.riken.go.jp/r-world/riken/campus/tlo/index.html>

講 師： 范 秦寅 教授 (日本 Software Cradle Co. Ltd. General Manager、中国科瑞多技術中心主任)

要 旨：

題目1： 熱流体・構造連成解析に関して(Coupled Analysis of FSI)

シミュレーション技術とコンピュータ・ハードウェアにおける急速な進歩に従って構造連成解析は工学の共通ツール、設計者の間にも広がり必要不可欠なものになりつつある。特に、有限体積法をベースしたテトラ、ヘキサ、プリズム、およびピラミッド要素から成るハイブリッドメッシュが使用され、すべての変数が要素の節点で定義されている。そのために、他の有限要素法をベースした構造解析プログラムとの間でデータの定義に互換性が高く、転送が容易であり、流れ構造解析に適用しやすい。本報告では、流れ構造連成解析における圧力、せん断応力による荷重の転送に関して注意すべき問題をまとめ、用いた例を詳しく説明します。

題目2: 中国における CAE ソフトウェアの応用状況及び発展戦略

(The Prospect of CAE Software Applications and The Strategy of Its Development in China)世界の CAE 情勢、中国の CAE 状況を分析し、中国の CAE 発展させるために、どのような問題があるか、どのような政策をとるべきかについて提案を説明します。(PPT は中国語で、説明は日本語でございます。)

講師略歴:

1986 年 9 月—現在 歴任中国江蘇大学助教、兼任副教授、兼任教授、講座教授
1987 年 4 月—1991 年 3 月 日本大阪大学客員研究員
1988 年 4 月—1991 年 3 月 日本帝塚山短期大学非常勤講師
1991 年 4 月—2003 年 3 月 日本 Cybernet System Co. Ltd.担当課長、技術課長、副参事
2003 年 4 月—現在 日本 Software Cradle Co. Ltd. 部長代理、General Manager
中国科瑞多技術中心主任
2007 年 4 月—現在 日本大阪大学客員研究員再任
2007 年 8 月—現在 F&Jtec Japan 代表者

それでは、よろしく願い申し上げます。

雷康斌 2008 年 10 月 2 日